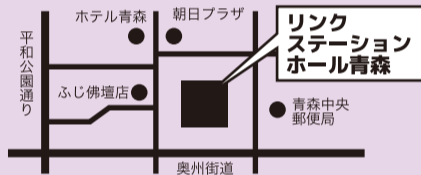


ひきこもり大学

KHJ全国キャラバン 青森

日時 **7/4 (土)**
14:00~16:30
(受付開始13:30~)

- 会場
リンクステーションホール青森(青森市文化会館)
小会議室(4)
青森市堤町1-4-1



- 対象者
若者の社会参加に関心がある方、ひきこもり当事者・経験者、
家族、支援者など
- 定員 50名(先着順)
- 参加費 1000円 ※当事者・経験者500円

内容 1限目 ひきこもり大学 コミュニケーション学部

テーマ:「ダイアログ(対話)」

—ひきこもり同士が語り合う意味—

講師:NPO法人わかもの国際支援協会
理事 横山泰三さん

プロフィール:15歳で不登校、ひきこもりを経験。インターネット上で知り合ったひきこもり同士で自助グループを立ち上げる。在宅などのテレワークを使った仕事の仕組み作りを確立、現在は農業とインターネットの組み合わせによる新しい生き方を模索している。



進行:ひきこもりフューチャーセッション庵-IORI-

2限目 ひきこもり大学 当事者活動学科

テーマ:「当事者活動の紹介と、ひきこもり大学について」

講師:NPO法人グローバル・シッピングこうべ
理事 森下徹さん

プロフィール:17歳で不登校になり、ひきこもりと不登校を繰り返す。神戸の居場所集まった当事者たちで2006年にNPOを立ち上げ、自助グループの開催や情報発信を行う。2009年に法人化イベントなどを開催するとともに、2014年度からは兵庫県内の電話相談事務局を受託。フリースクールスタッフや各地の居場所スタッフを兼任している。

3限目 参加者がグループに分かれての対話
(見学席もご用意しています)

4限目 それぞれのグループからの発表と共有

ひきこもり 当事者の 社会参加を支える 枠組みづくり

2010年度の内閣府による調査で「ひきこもり」は全国で推計70万人と発表され、有効な解決策も見いだせないまま長期化や高齢化が懸念されています。

私たちKHJ家族会は、1999年の結成以来、外出できない当事者に代わり家族がつながることで当事者や家族の孤立を防ぐ努力を重ねてきましたが、ともすれば親としての思いが先に立ってしまい、当事者が望む支援とのズレが生じてしまうこともありました。

一方近年になって、様々な参加者が集まり対話する場「フューチャーセッション」や、ひきこもっていた人がその経験から得られた知恵などを講義する「ひきこもり大学」など、当事者が主体となる新しい動きが各地で生まれています。

この度、関東で対話の場を開いているグループと、関西で当事者主体の活動をしているNPOの協力を得て、ひきこもり大学を全国で開催します。

主催:全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)

共催:KHJ青森「青森さくらの会」

協力:KHJ青森「アップルの会」

ひきこもりフューチャーセッション庵-IORI-

NPO法人わかもの国際支援協会

NPO法人 グローバル・シッピング こうべ

お問い合わせ

hiroo-shimoyama@k2.dion.ne.jp
(下山)

※都合により内容等が変更になる場合があります。

